

事務の管理及び執行状況
の点検・評価実施報告書
(平成27年度実績)

平成29年2月

由利本荘市教育委員会

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	(1) 会議の開催状況	
	(2) 教育委員の活動状況	
	(3) 計画の策定状況	
	(4) 市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	5
	【学校教育部門】	
	(1) 地域とともにある学校づくり	5
	(2) 確かな学力の形成	7
	【社会教育部門】	
	(1) 読書の大切さの啓発と読書活動の促進	8
	(2) 生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	9
	(3) 社会教育施設の管理運営	10
	【スポーツ振興部門】	
	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	11
	(2) 指導者の養成	12
	(3) スポーツ施設の整備充実	13
	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携による スポーツ振興	14
	【文化振興部門】	
	(1) 芸術文化の振興	15
	(2) 文化財保護活動の推進	18
	【教育環境整備部門】	
	学校施設の整備	20

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に関する事務（同条第4項の規定により事務局職員に委任された事務を含む。）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、「由利本荘市の教育」に掲げる施策を12項目18事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合会副会長の佐藤智子氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期 日	付 議 案 件
H27. 4. 21 (総合教育会 議)	(1) 総合教育会議の運営等について (2) 大綱の策定について (3) 平成27年度由利本荘市の教育について (4) 緊急の場合の措置について
H27. 4. 28 (定例会)	議案第31号 由利本荘市児童生徒就学指導委員会規則等の一部改正について 議案第32号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第33号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第34号 由利本荘市勤労青少年ホーム運営審議会委員の委嘱について 議案第35号 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について
H27. 5. 25 (定例会)	議案第36号 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第37号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第38号 由利本荘市ポートプラザ運営委員会委員の委嘱について 報 告 平成28年度使用 中学校教科書採択について
H27. 6. 30 (定例会)	議案第39号 由利本荘市教育委員会委員の議席指定について 議案第40号 由利本荘市教育委員会委員長の選挙について 議案第41号 由利本荘市教育委員会委員長職務代理者の互選について 議案第42号 由利本荘市文化財保護審議会委員の委嘱について 報 告 6月定例市議会の一般質問答弁概要
H27. 7. 24 (定例会)	議案第43号 中学校教科用図書採択について 報 告 1 大内地域の小学校統合について 2 国文化審議会答申について (松ヶ崎八幡神社の国登録)
H27. 8. 7 (協議会)	協 議 岩城小学校プールの傾きに係る今後の対応について
H27. 9. 25 (定例会)	議案第44号 学校運営協議会を設置する学校の指定について 報 告 1 9月定例市議会の一般質問答弁概要 2 岩城小学校プールの傾きについて
H27. 10. 21 (総合教育会 議)	(1) 大綱の策定について (2) 報告 ①第二次学校環境適正化検討委員会について ②給食調理員、学校校務員の配置状況について ③全国学力・学習状況調査の結果概要について ④就学援助の実態について ⑤不登校、いじめの実態について ⑥「由利本荘市学校警察連絡連携制度」に関する協定書(案) について

H27. 10. 26 (定例会)	議案第45号 由利本荘市郷土資料館条例の一部改正について 議案第46号 由利本荘市郷土資料館条例施行規則の一部改正について 議案第47号 由利本荘市本荘生活改善センター条例の廃止について 議案第48号 由利本荘市本荘生活改善センター条例施行規則の廃止について 報 告 新大内小学校の校章について
H27. 11. 18 (定例会)	議案第49号 公の施設の指定管理者の指定について 議案第50号 公の施設の指定管理者の指定について 議案第51号 平成28年度由利本荘市立小・中学校教職員人事異動方針について
H27. 12. 18 (定例会)	報 告 12月定例会市議会的一般質問答弁概要
H28. 1. 15 (臨時会)	議案第1号 教職員の処分について
H28. 1. 28 (定例会)	議案第2号 由利本荘市体育館条例の一部改正について 議案第3号 由利本荘市ボートプラザ「アクアパル」条例の一部改正について 議案第4号 由利本荘市運動公園条例の一部改正について 議案第5号 由利本荘市立大内中学校セミナーハウス条例の廃止について 議案第6号 由利本荘市セミナーハウス条例の廃止について 議案第7号 由利本荘市運動公園条例施行規則の一部改正について 議案第8号 由利本荘市立大内中学校セミナーハウス管理運営規則の廃止について 議案第9号 由利本荘市セミナーハウス条例施行規則の廃止について 議案第10号 由利本荘市指定文化財の指定について
H28. 2. 29 (定例会)	議案第11号 由利本荘市本荘生活改善センター設置条例を廃止する条例等の施行期日を定める規則の制定について 議案第12号 事務の管理及び執行状況の点検・評価実施報告書〈平成26年度実績〉(案)について 議案第13号 平成27年度末由利本荘市立小中学校教職員の人事異動について
H28. 3. 25 (定例会)	議案第14号 平成28年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 議案第15号 平成28年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動について 議案第16号 平成28年度「由利本荘市の教育」について 議案第17号 平成28年度教育費予算について 議案第18号 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 報 告 3月定例会市議会的一般質問答弁概要

(2) 教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月16日	石沢小	11月2日	大内中
6月17日	本荘北中	11月5日	岩城小
6月22日	小友小	11月10日	岩谷小
6月23日	矢島小・矢島中	11月12日	鳥海小・鳥海中
6月26日	西目小・子吉小	11月17日	石沢小
6月29日	岩谷小	11月18日	矢島小
7月1日	新山小	11月19日	新山小・本荘北中
7月2日	西目中	11月26日	由利小
7月3日	由利小・鳥海中	11月30日	子吉小
7月6日	大内中		
7月7日	下川大内小・上川大内小		
7月8日	鳥海小・由利中		
7月9日	東由利小・東由利中		
7月13日	鶴舞小・本荘南中		
7月14日	尾崎小・本荘東中		
7月15日	岩城小・岩城中		

②諸会議・研修等

月 日	会 議 名 等	場 所
4月16日 17日	東北都市教育長協議会定期総会	山形市
6月8日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県総合教育センター
9月1日	秋田県市町村教育委員会連合会及び秋田県都市教育長協議会合同研修会	秋田県生涯学習センター
11月17日	全州市町村教育委員会委員長・教育長会議	秋田県庁第2庁舎
2月10日 ～11日	教育委員県外研修	山形県遊佐町、新庄市

(3) 計画の策定状況

- ・由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱……平成27年11月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

		分 野	学校教育部門
項 目	(1)地域とともにある学校づくり	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	コミュニティ・スクールの推進		
事業の目的	<p>○学校経営に地域の願いを大きく取り入れ、学校運営の方針について学校運営協議会の承認を得るとともに、学校・家庭・地域が学校の現状と課題について共通理解を深めて相互連携し、学校経営の改善への協力を促進し、学校・家庭・地域が一体となった開かれた学校づくりに資する。</p>		
事業の実施状況	<p>○市内全小・中学校の学校運営協議会の設置 ○各学校運営協議会での学校における具体的な目標の検討 ○目標と具体的方策の周知 ○各学校における自己評価 ○学校運営協議会による評価の実施 ○結果の公表</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p>		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○学校運営協議会は、平成27年度からすべての小・中学校に設置され、コミュニティ・スクールとして歩み始めることができた。その協議会の中であきた型学校評価システムも実施されており、各小・中学校ではPDCAサイクルで評価を行っている。学校運営協議会では、それぞれの立場から意見を述べ、学校の運営に参画するとともに評価している。</p> <p>○具体的な目標、方策、評価、改善点等が、地域や保護者に公表されることで、地域に根ざした教育活動の推進につながっている。</p> <p>方向性：学校運営協議会（コミュニティ・スクール）のさらなる充実に向けて</p> <p>①首長部局との協働による市の未来を託す人材の育成プログラムの推進 ②学校・家庭・地域の課題解決に向けたコミュニティ・スクールの推進 ③児童生徒の参加による熟議の開催</p>		
学識経験者の意見	<p>○市内全小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、あきた型学校評価システムを活用しながらPDCAサイクルで評価、公表することは、地域に根ざした教育活動の推進に大きな成果を上げており、評価できる。</p> <p>○学校運営協議会では、立場の違う方々のいろいろな意見を学校経営や地域づくりに反映させることができ大変意義深い。地域とともにある学校づくりを一層推進してほしい。</p>		

項 目	(2)確かな学力の形成	担 当 課	学校教育課
点検・評価対象事業名	①由利本荘市教職員研修会		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の変化の主な動向等に着眼しつつ、今後求められる資質や能力を効果的に育成する観点から指導の充実を図る。 ○ 生きる力をはぐくむことを目指し、言語活動の充実、体験型理数教育の推進、グローバル人材の育成等、主体的に学習に取り組む態度を養う指導の在り方について研修を深める。 		
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○ 春季教職員研修会 ○ 夏季教職員研修会 ○ 冬季教職員研修会 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 春季教職員研修会（4月15日） <ul style="list-style-type: none"> ・年度の初めに当たり市内小中学校の全職員が一堂に会し、各課所管の事業について説明すると共に、教育長より本年度の本市教育の重点が示された。 ○ 夏季教職員研修会（8月6日） <ul style="list-style-type: none"> ・午前は、「主体的に学ぶ楽しさを実感できる授業づくり」のテーマのもと、教科別研修会を実施した。教材・教具の生かし方や主体的に学ぶ楽しさとねらいの達成について、小グループによる協議という形で研修を深めることができた。 ・午後は、「ふるさと秋田に学び、支え、飛躍する人づくり」と題して、独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館長 銭谷 眞美氏による講演会を開催した。本市で推進しているコミュニティ・スクールの基盤となるふるさと教育・キャリア教育の視点から、本市の未来を担う子どもたちにどのような能力を身に付けさせるかについて明確にご教示いただいた。 ○ 冬季教職員研修会（1月7日） <ul style="list-style-type: none"> ・午前は、市内6つの小・中学校の研究報告・発表という形で実施した。各種事業における実践内容や成果と課題についての発表とそれに対する質疑応答を行った。 ・午後は、参加中学生の代表2名による「箕面市との中学生交流から学んだこと」についての報告、大内中学校科学部員7名による研究発表を行った。物怖じせず堂々と発表する姿から教職員も多くのことを感じ、学ぶことができた。その後、国際教養大学 専門職大学院 准教授 町田智久氏に「グローバル化に対応したこれからの教育の在り方ー英語教育を中心にー」と題して御講演いただいた。2020年度の小学校学習指導要領改訂に向けて、小学校の英語教育がどう変わるのか、またそれに伴って各教科の指導の在り方はどう変わっていくのかについて、分かりやすくお話をいただいた。教科にかかわらず、市内全教職員で共通理解を図ることができた。今後の各校における校内研修会の進め方についても多くの示唆をいただくことができた。 			
今後の課題及び改善策・方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の課題であった、「研修内容、校種や教科バランス等、実効性のある研修への転換」と「社会的な動向に即した教職員一人一人の確実な実施につながるような研修形態と内容の充実」について、ある程度の改善は図られたと考えるが、教師がActive Learnerとして主体的に学ぼうとする意欲を喚起できるよう、研修内容の更なる充実を図っていく。 		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ○年度当初に教職員が一堂に会して、教育の重点について共通理解を図ることは大変意義深い。 ○東京国立博物館長 銭谷眞美氏を講師に、ふるさと教育、キャリア教育の視点から本市の未来を担う子どもたちにどう教育を進めていくかご教示をいただいたことは大いに評価できる。 ○国際教養大の准教授町田智久氏から今後の学習指導要領の改訂についてご教示いただき、全教職員が共通理解をもつことができた。 		

		分野	社会教育部門	
項目	(1)読書の大切さの啓発と読書活動の促進	担当課	生涯学習課	
点検・評価対象事業名	子どもの読書活動推進事業			
事業の目的	<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。 「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>			
事業の実施状況	<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年 6月 1日 27年度第1回子ども読書活動推進会議 ・平成27年 6月30日 子ども読書活動推進会議ボランティア部会 ・平成27年 8月 1日 子ども読書活動推進会議研修部会 ・平成27年 9月11日 子ども読書活動推進会議広報部会 ・平成28年 3月15日 子ども読書活動推進会議年度末会議 <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年 8月 1日 読み聞かせ・学校図書館ボランティア等交流研修会 ・平成27年10月17日 おはなしフェスティバル開催 ・平成28年 3月15日 「心にとどけスマイル便第9号」発行 <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年 <ul style="list-style-type: none"> 6月11日 石沢保育園 6月30日 ゆり養護学校 7月 3日 ゆり養護学校 7月15日 岩谷小学校 7月21日 ゆり養護学校 7月24日 小友保育園 9月10日 ゆり養護学校 9月15日 本荘保育園 9月15日 ゆり養護学校 10月 5日 ゆり養護学校 10月27日 石脇北保育園 11月12日 石脇西保育園 2月 1日 ゆり養護学校 12月 9日 石脇西保育園 12月15日 本荘保育園 12月16日 石脇東保育園 ・平成28年 <ul style="list-style-type: none"> 1月15日 ゆり保育園 1月22日 矢島保育園 			
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる			
	<p>○企画・立案された諸事業を実施することができた。 ○おはなしフェスティバルに初めて参加する団体があり広がりがみられた。 ○鳥海中学校図書部員が隣接する小学校に出向いて行っている読み聞かせ活動取材し広く紹介することができた。 ○岩城小学校での秋田県学校図書館研究大会は推進会議の協力により充実した内容で開催することができ参加者に喜ばれた。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○「心にとどけスマイル便」を編集するにあたって課題となることが多かった。28年度引き続き検討し改善を図りたい。 ○各ボランティア団体の協力を得てボランティア名簿を再更新した。これまでに把握できていなかった団体を付け加え、逆に現在は活動していない団体を整理した。 ○秋田県学校図書館研究大会に協力したことにより、子どもの読書活動推進会議とボランティア団体のメンバーにとっても、学校で行っている読書指導への理解が深まった。</p>			
学識経験者の意見	<p>○子ども読書活動推進会議とボランティア団体メンバーにとって、日頃の読書指導への理解を深めることができた。 ○「心にとどけスマイル便」の編集では、課題となっている点の改善に努めてほしい。 ○読み聞かせボランティアの派遣回数が増え、また参加者も増加しており、活動が充実していることは評価できる。</p>			

		分野	社会教育部門
項目	(2)生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		・学社連携・融合の推進事業	
事業の目的			
○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。			
事業の実施状況			
○放課後子ども教室の実施（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担） <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。 ・市内小学校14校（14教室）で通年開設。 ・延べ開催回数 1,240回、延べ参加児童数 42,651人、延べスタッフ数 3,587人 ・事業費総額 5,691千円 ○学校支援地域本部事業（文部科学省の補助事業：国・県・市各1/3負担） <ul style="list-style-type: none"> ・市内全小中学校（小学校15校、中学校10校）を対象とし、中学校単位で10本部を設置。 ・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。 ・事業費総額 1,807千円 			
点検評価及び説明		<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
○放課後子ども教室推進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各教室ともコーディネーター、教育活動サポーターの協力により、学習・体験・遊びなど様々な取り組みができた。岩城小学校でコーディネーター辞任により開催できなかったが、上川大内小学校で月1回の開催から月2～3回開催になるなどにより、実施回数、参加児童数は26年度を若干上回った。 ○学校支援地域本部事業 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に全小中学校に拡大実施。（国・県・市が1/3ずつの補助事業）。学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習・環境整備・学校行事等を支援することができた。活動日数2,937日、参加人数22,900人 			
今後の課題及び改善策・方向性			
○放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none"> ・地域により活動状況に差がある。多様化に向け地域人材の確保と育成が課題。 ○学校支援地域本部事業 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール活動とのより一層の連携・協調が必要。よりたくさんの方々に参画いただくため、住民の意識の醸成・活動者確保が必要。 			
学識経験者の意見			
○コーディネーター、教育活動サポーターの協力により、市内ほぼ全小学校で放課後子ども教室に取り組むことができたことは、大いに評価できる。 ○社会がますます多様化し学校が様々な課題を抱え繁忙化している中、より一層工夫を重ね、家庭や地域の教育力の向上を図ってほしい。 ○コーディネーターやボランティアの人材確保と育成に一層、努めていただきたい。			

		分野	社会教育部門
項目	(3)社会教育施設の管理運営	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名		・社会教育関係施設の整備事業	
事業の目的		○市民にとって身近な公民館等の社会教育関係施設の維持管理と整備を図る。	
事業の実施状況		<p>○石沢地区多目的集会施設建設事業（地質調査、設計、既存施設解体等）2,973千円 （設計、既存施設解体等はH28年度へ繰越 30,025千円） 建設工事費は101,952千円…H28年度事業</p> <p>○大内環境改善センター等改修事業（屋上防水等） 29,161千円</p> <p>○鮎川学習センター老朽化対策事業 4,240千円</p> <p>○アクアパル改修事業（ウッドデッキ、外灯、笠木等改修） 30,996千円</p> <p>○アクアパル 救難・指導用ボート配置事業 2,042千円</p> <p>○上記のほか、修繕多数実施。</p>	
点検評価及び 説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○石沢地区多目的集会施設の建設に着手できた。</p> <p>○老朽化の進んだ社会教育関係施設の改修事業等を実施することができた。</p> <p>○平成29年に本市で行われる「全国市町村交流レガッタ」に向けた準備が順調に進捗している。（競技艇の更新は26年度で完了。改修工事は25年度から27年度で完了。救難・指導用モーターボートを27年度に配備。）</p>			
今後の課題及び 改善策・方向性		<p>○耐震診断・耐震補強は平成26年度で完了している。</p> <p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきたことから、緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。</p>	
学識経験者の意見		<p>○石沢地区多目的集会施設の建設に早期に着手できたことは大いに評価できる。</p> <p>○他の各施設においても緊急性や市民サービスの向上を考慮しながら、計画的に老朽化対策や改修事業を進めてほしい。</p>	

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(1) 生涯スポーツ・レクリエーション・体力づくりの推進	担 当 課	スポーツ課
点検・評価対象事業名		・各種スポーツ教室、スポーツ大会開催事業	
事業の目的			
○生涯スポーツとレクリエーション活動の普及のため、全市またはブロック単位で各種スポーツ教室やスポーツ大会を開催し、市民のスポーツ振興を図る。			
事業の実施状況			
○チャレンジデーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手：香川県丸亀市 参加者数66,702人、参加率81.5% ○スポーツ教室の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・各地域各スポーツ教室 3,816人 ・遊泳館水泳教室（水泳・アクアビクス・水中ウォーキング・ベビースイミング）年間参加者合計 542人 ○市民スポーツ・レクリエーション大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・300歳以上ソフトボール大会：27チーム、 ・男女混合バレーボール大会：18チーム、 ・市ユニホック大会：13チーム、 ・クロスカントリーレース：438名 ○地域間交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・奥羽横断駅伝競走大会：32(1)チーム、秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン：34(1)チーム、全国市町村交流レガッタ大会：128(7)クルー、いわきサンシャインマラソン：10,496(2)名、第70回香川丸亀国際ハーフマラソン：12,760(2)名、横荘線メモリーウォーキング：190(52)名、ほか各教育学習課による連携事業の開催 			
点 検 評 価 及 び 説 明		<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
○スポーツ推進委員と連携し各種スポーツ教室の開催により、子供から高齢者までの活動を推進するとともに、競技団体との連携による大会運営等、市民のスポーツ活動の推進に積極的に努めた。			
今後の課題及び改善策・方向性		○各地域で開催されるスポーツ教室や大会等を、複数地域でのブロック開催の検討や、より多くの市民がスポーツに親しめるような環境整備を図る。 ○全市を対象とした大会が、本荘地域からの参加が中心となっているため、各教育学習課を通じ各地域からの参加を促す。	
学識経験者の意見			
○チャレンジデーの参加率が年々上昇している。今後も参加者が増加することを期待する。 ○スポーツ推進員や競技団体と連携し、各種スポーツ教室や大会を運営した結果、当初の目標を上回る成果を上げたことは大いに評価できる。今後も多くの人に参加してもらえよう、情報発信に努め、スポーツ立市として市民のスポーツ活動の推進に努めてほしい。			

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(2) 指導者の養成	担 当 課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・指導者の養成と資質の向上のための事業		
事業の目的	<p>○体育協会加盟団体においては、各競技の普及・拡大を図るため、競技団体が主体的にジュニア層の育成強化や指導者の養成を行いながら、競技の持続的な発展に結びつける。</p> <p>○スポーツ少年団員を安全かつ適正に指導してもらうため、認定員養成講習会を開催し、指導者の資質の向上を図りながら指導者と保護者が共通した認識のもとで団活動を推進していく体制整備を行う。</p>		
事業の実施状況	<p>○スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 6/20～21 西目会場受講者110名（年度合計受講者154名） 【由利本荘市・にかほ市スポーツ少年団連絡協議会事業】</p> <p>○スポーツ少年団指導者研修会・安全講習会の開催・・・90名 3月6日 指導者研修会（講演） 「ジュニア育成における指導者の役割・コーチングについて」 安全講習会（実技） 「ケガの予防に効果的なストレッチング」 講師：元由利高校バレーボール部監督 初山芳雄氏</p>		
点 検 評 価 及 び 説 明	<p>■目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる</p> <p>○認定員養成講習会を開催し、指導者と保護者が共通した認識のもとで、円滑な団活動ができるように推進した。</p> <p>○ジュニア育成における指導現場での指導者の役割・コーチングとケガ予防に効果的なストレッチング講習会を実施したことで、これまでの指導方法を見つめ直す機会となった。</p>		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○継続して認定員養成講習会を実施し、指導者並びに保護者が少年期のスポーツ活動について共通した認識を持った上で、適正な活動を継続していく。</p> <p>○指導者連絡協議会を開催し、活動の指針等の確認を継続して行う。</p> <p>○生涯スポーツ推進のためにも、スポーツ推進委員が研修会等に参加できる環境整備に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○認定員養成講習会を実施し、指導者と保護者の共通認識のもとでスポ少活動を推進できたことは大きな成果である。</p> <p>○ジュニア育成のためのコーチング、ケガ予防について、講師を招き講演、実技指導を受けたことは今後の指導に大いに成果があったと思う。</p> <p>○全体的に目標を上回る成果を得ており、今後も継続して指導者の資質向上を図ってほしい。</p>		

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(3) スポーツ施設の整備 充実	担 当 課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・既存体育施設の改修整備		
事業の目的	○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。		
事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 由利教育学習課 14,035千円 (緑地公園照明修繕事業) ・ 西目教育学習課 8,086千円 (西目サッカー場フェンス修繕事業) 		
点検評価及び 説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	○経年劣化等により修繕が必要とされていた設備の改修を年次計画で行い、安全性等を確保		
今後の課題及び 改善策・方向性	○市内全地域に多数の体育施設があるが、老朽化等により修繕箇所や修繕費用が毎年増加している。一方で交付税の減少により更に財政的に厳しく予算措置が困難になってきているので有効な助成事業等を活用しつつ、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。		
学識経験者の意見	○所管する多数の体育施設に係る修繕費用が嵩み、維持管理に苦慮しているが、緊急性、安全性に意を払いながら、点検を怠ることなく、環境整備を計画的に進めていただきたい。		

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(4) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担 当 課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	・プロスポーツを通じたスポーツ振興事業		
事業の目的	<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことのできる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチバナー広告料として50万円を支出し支援。 ・サッカースクールの開催など地域貢献事業を展開。 <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・bjリーグホームゲーム開催にあたり、チームPRやボランティア募集、大会運営等に協力し、本市でのホームゲーム開催の定着を図る。また、プロスポーツの素晴らしさを多くの市民に直接肌で感じてもらう。 ・学校訪問やバスケクリニックの開催により、小学生などの子ども達にプロ選手との交流の場を提供。 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○夢を持ちスポーツに取り組む子どもたちが、1ランク上の競技レベルに達するためには、プロ選手との直接交流が刺激になると考えている。また、プロの迫力あるプレーを間近で観戦することで、スポーツに親しむ市民は、目標設定や競技力向上に繋がる。さらに、観戦者はスポーツを観る楽しみを経験し、スポーツ振興の推進が図られるとともに、市全体の地域の賑わい創出に結びついた。</p>		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○ブラウブリッツ秋田：H26からJ3加入となり、ホームゲーム開催の全てが秋田市会場となったことから、市内サッカー場との関わり方について、関係自治体とともに検討が必要。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：Bリーグホームゲームの由利本荘市開催へ向けて、チームと連携を密にしながら誘致していく。</p>		
学識経験者の意見	<p>○プロスポーツ選手との身近な交流は、子どもたちに夢と希望を与え、大きな刺激となっており、今後もぜひ継続実施してほしい。</p> <p>○目標を上回る成果を上げたことは大いに評価できる。今後もスポーツを通して地域の賑わいづくりと子どもたちの心身の健全育成に努めてほしい。</p>		

		分野	文化振興部門
項目	(1) 芸術文化の振興	担当課	文化課
点検・評価対象事業名		①芸術鑑賞教室	
事業の目的		<p>○市内に在住する児童・生徒に対し、毎年芸術文化の公演等を鑑賞できるよう、その機会の拡大を図る。</p> <p>○本市立小学校児童および中学校生徒を対象に本物の舞台芸術の鑑賞機会を提供することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことを目的とする。</p>	
事業の実施状況		<p>○開催場所：カダーレ</p> <p>*小学校下学年の部（1～3年生） 参加者数：1,850人 ・開催期日：平成27年9月1日（火）～2日（水） 3公演 ・上演作品：ミュージカル「ピノッキオの冒険」</p> <p>*小学校上学年の部（4～5年生） 参加者数：1,172人 ・開催期日：平成27年9月4日（金） 2公演 ・上演作品：演劇「夢をかなえるゾウ」</p> <p>*小学校6年生の部（劇団四季 こころの劇場） 参加者数：620人 ・開催期日：平成27年10月1日（木） 1公演 ・上演作品：ミュージカル「むかしむかしゾウがきた」</p> <p>*中学校の部（1～3年生） 参加者数：1,998人 ・開催期日：平成27年9月10日（木）～11日（金） 3公演 ・上演作品：ライブコンサート「大久保宙&HOVA パーカッションアンサンブル」</p>	
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○優れた公演、芸術作品を鑑賞することにより、芸術を愛する心と豊かな情操を養うことが期待される。</p> <p>○市内小学校15校、中学校10校の全児童・生徒を対象に鑑賞会を開催。</p> <p>○全校がカダーレに会し、本格的なホールでの鑑賞を経験する機会を設ける。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性		○継続開催に努める。	
学識経験者の意見		○市内の児童生徒全員が本物の優れた舞台芸術作品を鑑賞できることは、芸術を愛する心と豊かな情操を養う点でもすばらしい体験であり、大変有意義である。ぜひ、継続してほしい。	

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の振興	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	②第11回由利本荘美術展		
事業の目的	<p>○様々な分野の芸術文化に出会い、鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○由利本荘圏域の文化向上のため、住民の美術作家または愛好者のレベルアップを図り、圏域住民の芸術作品への関心を高めることを目的に開催する。</p>		
事業の実施状況	<p>○由利本荘美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：カダーレ ギャラリー1+2+3 ・開催期日：平成28年1月30日（土）～2月3日（水） ・出品者数（作品数）：120名 絵画28、書道34、工芸25、写真33 ・期間中入場者数：1,280人 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p> <p>○出品者、作品数はほぼ同規模で推移している。</p> <p>○新人の発掘や登用が図られた。</p> <p>○個々の作品の質が高く、総じて展覧会として充実しており、来場者から高評を得た。</p>		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○継続開催に努める。</p> <p>○引き続き、新人の発掘に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○市内の様々な分野の芸術文化の向上を図りながら、その鑑賞の機会を創出するための美術展開催は、内容も充実し、多くの来場者から好評を得ていることは素晴らしいことです。</p> <p>○カダーレ開催や冬季開催の利点も大きく市外からの鑑賞者も多いことから、今後も、新人の発掘に努めながら是非、継続して開催してほしい。</p>		

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の振興	担 当 課	文化課
点検・評価対象事業名	③人形劇フェスティバル2015		
事業の目的	<p>○様々な分野の芸術文化に出会い、鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○各地の人形劇団が一堂に会し共演、交流することで、人形劇文化の向上と地域の文化の活性化につなげる。</p>		
事業の実施状況	<p>○ゆりほんじょう人形劇フェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：カダーレ ・開催期日：平成28年2月14日（日） ・出演団体数：8団体（公演7、ワークショップ1） ・参加者数：延べ約900人 		
点 検 評 価 及 び 説 明	<p>■目標を上回る □ほぼ目標どおり</p> <p>□目標をやや下まわる □目標を大幅に下まわる</p> <p>○市民有志による企画運営委員会を組織し、主体的に企画や当日の運営にあたった。</p> <p>○県内外（県外3・県内5団体）から広く参加があり、相互観劇・交流会などによって、団体間の交流が図られた。この事業を契機に発足した団体があった。</p> <p>○多彩な作品に触れることができ、来場者からは好評だった。</p> <p>○予想を大きく上回る来場者があり、にぎわいを創出できた。</p>		
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○継承事業の継続開催に努める。</p> <p>○企画運営委員会の充実に努める。</p>		
学識経験者の意見	<p>○市民有志による企画運営で、県内5団体、県外3団体が参加し、相互観劇、交流会を行い、団体間の交流を図られたことは大変意義深いことであり、今後も継続開催し人形劇文化の向上と地域文化の活性化を図ってほしい。</p> <p>○各出演団体の会場や上演時間を区分するなど、運営上の工夫もされ、多くの方の鑑賞で賑わっていることは大いに評価できる。</p>		

		分野	文化振興部門
項目	(2) 文化財保護活動の推進	担当課	文化課
点検・評価対象事業名		①指定文化財修理事業	
事業の目的		○歴史を正しく理解するために欠くことのできない重要な文化財を保護し、将来へ確実に継承していくため必要に応じて修復措置を講じる。	
事業の実施状況		<p>○永泉寺山門保存修理事業（第三期工事）【県指定有形文化財】</p> <p>事業内容 ●建物修復 1階天井板補修、各部材はずれ・破損補修、建具補修、2階内部補修、 2階天井下り補修</p> <p>●報告書作成 3ヵ年事業の大規模な修理事業であることから、記録保存として作成した。</p> <p>事業期間 平成27年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>県・市補助事業 市補助事業関係 4/1 交付申請 4/1 交付決定 9/9 交付変更申請 9/15 交付決定変更 3/31 実績報告</p> <p>永泉寺山門修復委員会を組織 年間6回開催 指導助言 秋田公立美術大学教授 澤田 享氏 一般公開 3ヵ年事業が完了したことから、平成27年10月18日に落慶記念一般公開を行い、1,800人が参加</p>	
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
今後の課題及び改善策・方向性		○全事業が当初予定した計画どおりに完了した。 ○事業者が文化財の所有管理者であったため、行政と一体となって文化財の修理を実施し、一体となって文化財保護に取り組むことができた。 ○文化財として将来的に国指定を目指せる修復に心がけ、新材を使用する際は今回の工事によることが分かるよう焼印の押印、見え掛かりについては古色塗り仕上げとした。	
学識経験者の意見		○県指定有形文化財の永泉寺山門保存修理事業が行政と一体となって実施され、文化財保護に取り組むことができたことは大変意義深いことであった。また、将来的に国指定を目指せるよう修復に配慮したことも意義深いことで、今後とも所有者、行政一体となって保存に努めてほしい。 ○市内外からの多くの方々に貴重な文化財を公開できたことは、文化財保護の啓蒙に大きな効果があった。	

		分野	文化振興部門
項目	(2) 文化財保護活動の推進	担当課	文化課
点検・評価対象事業名		②鳥海山北麓の獅子舞番楽記録作成事業	
事業の目的			
本市とにかほ市に跨がる8団体が「鳥海山北麓の獅子舞番楽」として国記録選択されたことから、この8団体を中心に周辺域の獅子舞番楽を広域的に調査し、記録保存することにより将来へ忠実に保存継承できることを目的とする。			
事業の実施状況			
4カ年事業の初年度にあたる。国・県補助を受けながら、にかほ市と共同で実施（補助事業者は由利本荘市）。文化庁の指導を受けながら文化庁文化審議会第五専門調査会委員の高山茂氏を中心とする調査委員会を設置し、現地調査を実施。			
調査対象	鳥海山北麓の獅子舞番楽として記録選択されている「坂之下番楽」「屋敷番楽」「濁川獅子舞」ほかににかほ市内の5団体を中心に、二市内に所在する獅子舞番楽。		
調査期間	平成27年4月9日～平成28年3月31日		
調査委員会	鳥海山北麓の獅子舞番楽調査委員会設置要綱に基づき、調査委員5名、調査員3名、特別調査員1名、助言者2名、特別協力者1名、調査補助員（調査対象団体）8名、事務局6名により設置		
成 果			
調査委員会	第1回 H27.5.30（カダーレ）	委員長の選任、調査・役割分担	
	第2回 H27.10.5（カダーレ）	調査状況、H28調査内容	
	第3回 H28.2.10（カダーレ）	調査実績、H28調査内容	
現地調査	延べ32回68人 年度末に調査カード作成		
点 検 評 価 及 び 説 明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
調査委員会で役割分担を明確にし、にかほ市と共同しながら、調査委員や調査対象団体との調整を行い、目標を上回る現地調査を実施することができた。			
今後の課題及び改善策・方向性			
最終年度に予定している調査報告書の刊行を意識しながら、二年次・三年次の現地調査を進める。			
学識経験者の意見			
<p>○これまで継承されてきた無形民俗文化財が国記録選択され、文化庁と高山茂氏を中心とした調査委員会により、延べ32回にわたる現地調査が実施されたことは大いに評価できる。本年は、4カ年事業の初年度であり翌年度以降も広域的に調査し成果を上げてほしい。</p> <p>○どの団体も後継者育成に苦慮している中、記録に残すことは大変有意義であり、調査のPRと成果品の活用を図りながら、貴重な文化の継承に努めてもらいたい。</p>			

		分 野	教育環境整備部門															
項 目	学校施設の整備	担 当 課	教育総務課															
点検・評価対象事業名	① 大内地域小中学校統合改修事業																	
事業の目的	<p>○少子化が進む中で、本市でも児童生徒数の減少により複式学級や小規模学校が進行していることから「学校環境適正化計画」を策定し、計画に基づいて統廃合等を進め解消に努める。本荘地域を除いた1地域1小学校・1中学校の構想を検討し進めていく。</p>																	
事業の実施状況	<p>《小学校の統合》統合小学校として使用するための旧大内中学校の改修工事</p> <p>○大内地域統合小学校改修工事</p> <table border="0"> <tr> <td>大内地域統合小学校外壁等改修工事</td> <td>H27. 7. 10～H28. 1. 29</td> <td>127, 506, 960円</td> </tr> <tr> <td>大内地域統合小学校内部等改修工事</td> <td>H27. 9. 11～H28. 3. 25</td> <td>70, 533, 720円</td> </tr> <tr> <td>大内地域統合小学校電気設備改修工事</td> <td>H27. 9. 4～H28. 3. 11</td> <td>22, 176, 720円</td> </tr> <tr> <td>大内地域統合小学校機械設備改修工事</td> <td>H27. 9. 11～H28. 3. 11</td> <td>50, 153, 040円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>270, 370, 440円</td> </tr> </table> <p>【学校施設環境改善交付金事業】</p>			大内地域統合小学校外壁等改修工事	H27. 7. 10～H28. 1. 29	127, 506, 960円	大内地域統合小学校内部等改修工事	H27. 9. 11～H28. 3. 25	70, 533, 720円	大内地域統合小学校電気設備改修工事	H27. 9. 4～H28. 3. 11	22, 176, 720円	大内地域統合小学校機械設備改修工事	H27. 9. 11～H28. 3. 11	50, 153, 040円		合計	270, 370, 440円
大内地域統合小学校外壁等改修工事	H27. 7. 10～H28. 1. 29	127, 506, 960円																
大内地域統合小学校内部等改修工事	H27. 9. 11～H28. 3. 25	70, 533, 720円																
大内地域統合小学校電気設備改修工事	H27. 9. 4～H28. 3. 11	22, 176, 720円																
大内地域統合小学校機械設備改修工事	H27. 9. 11～H28. 3. 11	50, 153, 040円																
	合計	270, 370, 440円																
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる																	
	<p>○統合小学校の改修工事について年度内にすべての工事が完了し、4月の開校準備が整った。</p>																	
今後の課題及び 改善策・方向性	<p>○今後は、大内地域内の2小学校（岩谷小、大内小）の統合に向けた検討が必要である。</p>																	
学識経験者の意見	<p>○旧大内中学校の改修事業が年度内に予定通り完了し、新大内小学校の開校を迎えたことは、順調に改修事業が推移したことで大いに評価できる。</p> <p>○今後、下川大内小と上川大内小の跡地活用が課題となるが、幅広い分野での有効活用に向け、地域の声を聴きながら取り組んでいただきたい。</p>																	

		分 野	教育環境整備部門
項 目	学校施設の整備	担 当 課	教育総務課
点検・評価対象事業名		② 東由利中学校建設事業	
事業の目的		<p>○統廃合を予定していない校舎、屋体棟の計画的な改築事業。市内の学校で一番古い中学校である東由利中学校は昭和45年の建築である。将来の改築工事を想定し耐震補強工事を一部施工に止めた。生徒の安全な学校生活確保のため改築を行うものである。</p>	
事業の実施状況		<p>平成27年度事業 旧校舎解体工事 外構工事</p> <p>○東由利中学校Ⅱ期解体工事 H27.5.29～H27.12.25 79,702,920円 ○東由利中学校Ⅱ期外構工事 H27.10.30～H28.6.24 52,146,720円</p> <p>【学校施設環境改善交付金事業】</p>	
点 検 評 価 及 び 説 明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
<p>○解体工事は予定どおり年度内に完成した。</p> <p>○外構工事は発注時期の関係で、年度内に完成できず、一部繰り越すこととなった。</p>			
今後の課題及び 改善策・方向性		<p>○将来的な小学校との併設時期については、なお検討の余地がある。</p>	
学識経験者の意見		<p>○生徒の安全な学校生活確保のための改築工事が26年度に完成、平成27年4月から新校舎での授業がスタートし、旧校舎の解体工事と外構工事が順調に進められたことは大いに評価できる。</p> <p>○生徒が安心して学校生活を送れるよう、今後も学校の施設整備に努めてほしい。</p>	

		分 野	教育環境整備部門
項 目	学校施設の整備	担 当 課	教育総務課
点検・評価対象事業名		③ 小中学校地震防災機能強化事業	
事業の目的		○小中学校の耐震化を引き続き行うとともに、天井等の非構造部材の落下防止対策を行うことにより、児童・生徒の安心・安全で快適な学校生活環境を確保する。	
事業の実施状況		<p>○小中学校天井等落下防止対策推進工事 H27. 7. 10～H28. 2. 19 184,164,840円 (新山小、矢島小、鳥海中、本荘南中、本荘東中、岩城中、由利中、鳥海中)</p> <p>○子吉小学校給食棟耐震改修工事 H27. 7. 3～H27. 9. 30 10,628,280円</p> <p>○西目中学校食堂棟耐震改修工事 H27. 7. 3～H27. 8. 31 3,738,960円</p> <p>【学校施設環境改善交付金事業】</p>	
点 検 評 価 及 び 説 明		<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる	
		○学校運営に支障ないよう十分に協議を進めながら予定どおり完了した。	
今後の課題及び 改善策・方向性		○引き続き、児童生徒の安全安心を第一に学校環境の整備に努めなければならない。	
学識経験者の意見		<p>○児童・生徒の安心安全で快適な学校生活環境を確保するための改築工事で、各校とも学校運営に支障が出ないよう充分協議しながら予定どおり完了できたことは大いに評価できる。</p> <p>○今後も、児童・生徒の安全安心な学校環境に常に注意を払いながら、緊急性、安全性を第一に、計画的に施設の改修や維持管理に努められたい。</p>	

